

事業所名:グループホームはるが丘

作成日:平成23年3月29日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について…災害に備えた備品等の準備が不十分である。	火災や地震、水害等の発生時に備えていざという時に、食料や飲料水、トイレ(排泄)、寒さをしのげるような物品等を準備しておく。	火災や地震、水害等の発生に備えて、職長(非常食3日分)や飲料水(5年間保存可能)、停電時の懐中電灯やろうそく、寒さをしのげるような物品等(湯たんぽや携帯ホッカイロ)を準備しておく。	1 か月
2	27	個別の記録と実践への反映が不十分であり、連動されていないのが現状である。	介護計画にそって実践されたか、それでどうなったかの評価を日常的に記入し、情報を共有しながら一人ひとりのケアプランに沿った介護を実施し、記録に残す。	介護計画に示された介護の実施状況が明示されるような記録の書き方に改め、記録の中でモニタリングし、評価していく。	3 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。